



山東幼稚園児と世代交流

今年は雪も少なく、高齢者にとつては過ごしやすい冬でした。会員の皆さん方には、お元気でお過ごしこと存じ上げます。

昨年四月に、山東老人クラブ連合会の活動が始まりましたが、単位老人クラブは脱退が相次ぐ中、朝日、村居田、本市場、野一色、大鹿、梓河内の六自治会と、本部役員も会長、山本久子

ラブ連合会の活動が始まりましたが、単位老人クラブは脱退が相次ぐ中、朝日、村居田、本市場、野一色、大鹿、梓河内の六自治会と、本部役員も会長、山本久子

副会長、東川理事と熊谷事務局長の四名体制であり、はたして、このメンバーで今年一年間の老人クラブの活動が乗り切れるのかどうか、不安を抱えての船出でした。

幸い、各単位老人クラブの会長さんのご理解とご支援をいただき、五月二十三日（水）グラウンドゴルフ大会に多くの会員方々がご参加いただき、和氣あいあいと大会を盛り上げていただけ、楽しいひと時がすぎました。山東老人クラブだけでは、大会の運営は難しいですが、グラウンドゴルフ協会の全面的なバックアップのお蔭です。深く感謝申し上げます。

長年、山東老人クラブの花いっぱい運動は、山東老人クラブが存続する限りは、現状にあつたやり方で何と

か継続維持を計画いたしました。幸い近くに山東東幼稚園があり、歩いて花いっぱい運動の会場に来ていただき、会員といっしょにプランターに花が定植できました。

山東幼稚園からは、会員の皆さまには優しく丁寧に花の植え方や水と肥料の大切さを教えていただき、人の温もりに触れ、園児たちに何よりの貴重な体験ができましたと感謝されました。

また、園児一人一人にプランターを一個渡して、自分のプランターとして、水やりや花の世話をしてくれました。「おじいちゃんたち、機械で土をまぜてやあたなあ」「私の花、綺麗に咲いてくれるといいな」「つぼみがたくさんあるで、いっぱい咲くで、たのしみやなあ」など園児たちにマリーゴールドやペコニヤを楽しみながら育てていただき、花いっぱい運動がやれてよかつたと思いました。

会報 すこやか

三十年度を振り返って

山東老人クラブ連合会長

瀬戸川 恒雄

第88号
平成31年4月10日
山東老人クラブ連合会



大きく 大きく 大きくなれ（山東幼稚園）

秋には米原市高齢者スポーツ大会が和氣あいあいと会員相互の親睦がはかれ、樂しそうな笑い声が聞こえ、高齢者にとつてはこのようない出逢いが大切であること、改めて実感いたしました。

会員研修旅行が当初の予想を上回る三十七名の多くの参加をいただき、伊豆長岡温泉方面に出発できました。日常生活からしばし離れ、心ゆくまでおしゃべりに花が咲き、膝を突き合わせて酒を酌み交わす機会は少なくなり、それだけに人間関係が希薄になり、一抹のさみしい思いをいたして

た。

会員研修旅行が当初の予

今年度の活動方針について

今年度参加予定の単位老人クラブは、野一色と本市

場が脱退され、朝日、村居田、大鹿、梓の四自治会になります。

これを受けて、先だつての本部役員と単位老人クラブ会長の合同会議の席上、

このままでは山東老ク連と

しての活動目的が果たせないのでもやれる老ク連の活動を続けながら、解散のための整理期間として、来年三月を

目途に解散を提案しました。

おりましたが、久しぶりに一日旅行の楽しさを満喫しました。

位老人クラブで持ち帰つて、検討していたとき、三月の合同会議で来年度の活動方針を最終的に決めさせていただきました。

時代の流れとは言え、これまで諸先輩の方々が頑張つてこられ、築いてこられた、輝かしい山東老ク連の歴史に幕を引かざるをえなくなり、言葉では言い表せない寂しさがこみあがつてきます。会長の力不足で、衰退の波を食い止めることができませんでした。山東老ク連の先輩諸氏には、申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

この提案を受けて、各老人クラブで持ち帰つて、検討していました。昨年の活動に参加して思うこと

本市場老人クラブ 会長 村田 吉朗

老人会に思うこと

昭和三十八年に結成された山東老人クラブ・先日、総会で退会を決議しました。

区の老人会活動は引き続き行つて参ります、会長職もそのまま二年延長です。

個々で参加できる趣味クラブ、行事等々あればお声掛け下さい。

予定を決められる事への抵抗感：当日そこへ行くま

でのモヤモヤ：いずれの行事もそんな心模様で、自由人でありたい、他にしたい

未だ決まらない人生を歩んでいる自分。

幼稚園児との楽しい花植えの時間・若さ蘇つてツイツイ元気百倍。グラウンドゴルフ・まぐれのホールインワン心が躍る。風薫る緑の中・清々しいウォーキング心地よい汗。ワナゲ女子

の精銳チーム・応援弁当係の熱が汗が身体からほとばしる。伊豆への研修旅行・日にちを間違え行きは新幹線・沢山の仲間と大広間。

楽しい時間はアツという間。

山東老ク連の親睦旅行に、十一月六日・七日の二日間伊豆半島方面へ出かけました。初日は、あいにくの雨でしたが三十七名のご参加をいただき楽しく出発しました。

昼食後、富士山世界遺産センターを見られました。木格子で覆われた逆円錐形のユニークな建物で池の水面に映る姿は、まさに富士山の幸の幸のご馳走をいただき、カラオケやおしゃべりで楽しんでいました。本館の内側は、らせんスロープになつていて、壁面に映る美しい映像を見ながら富士登山を擬似体験できるよう工夫されました。

まず、浜松エアパークでは航空自衛隊の任務や活動、航空機の模型等わかりやすく展示されていました。見学校にも自衛隊機が滑走路

れていて面白いかったです。しかし、展望デッキから富士山の姿は、雨のため見られず残念でした。

四時すぎ、伊豆長岡温泉に到着しました。温泉で温まり宴会が始まりました。食べきれないほどの山の幸、海の幸のご馳走をいただき、カラオケやおしゃべりで楽しむひとときを過ごしました。翌日は、雨も上がり、淨蓮の滝へ向いました。

二百段ほどの階段を降り

ると、目の前に激しい音を立てて流れ落ちる滝が現われ、その壯大さに圧倒されました。

続いて、柿田湧水を見学しました。富士山や箱根山の姿が見られなかつたことを残念でしたが、全員、元気に楽しい旅を終えることができ、本当にうれしく思いました。

ご参加、ご協力有難うございました。

その後、伊豆フルーツパークでみかん狩りを楽しみ、焼津さかなセンターに寄つて帰路につきました。富士山の姿が見られなかつたことは残念でしたが、全員、元気に楽しい旅を終えることができ、本当にうれしく思いました。

ご参加、ご協力有難うございました。

この清流保護のために、大変苦労されてきたお話をお聞きし、水の大切さを教え

良い機会ですよ！

山東老ク連本部役員

東川 芳信

山東老ク連の単老加入数が激減しての第二十九回米原市老ク連主催「高齢者スポーツ大会」が、さる九月二十八日（金）に長浜バイオ大学ドームで行われました。

日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、めでたく上

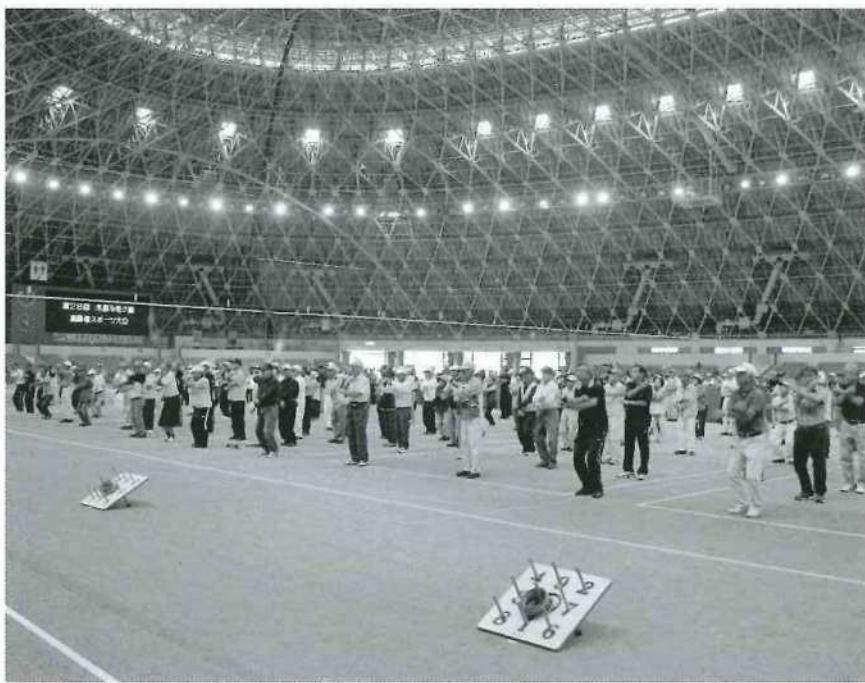
位に入賞されたチームは
グラウンドゴルフ
 一位 村居田
 二位 宇賀野
 三位 新庄
ペタンク
 一位 朝日
 二位 大久保
 三位 世継A
男子
 村居田 世継A
 日光寺 伊吹A
 大久保 世継B
女子
 母の郷 朝日
 舟崎 伊吹A
 寺倉 大久保
 本市場 世継B

競技する中で顔見知りの方々が久しぶりの再会を喜び、健闘を称え合う姿や、熱が入りすぎてエキサイトしましたね！

山東老ク連内ではグラウンドゴルフは選抜試合が出来たものの、他のワナゲ・ペタンクは竜巻等の自然災害の影響もあり、単老内で調整し、ぶつつけ本番で臨

また、初顔の好プレーをされる方には印象を深くしたり、選手や審判も和気あいの内に終了できたのも、事務方はじめ世話を頂いた方々皆さんのおかげでした。いろんな形での出会いがあつたのではないかと思います。

山東老ク連内ではグラウンドゴルフは選抜試合が出来たものの、他のワナゲ・ペタンクは竜巻等の自然災害の影響もあり、単老内で調整し、ぶつつけ本番で臨みました。山東老人クラブ連合会は、昭和三十八年三月に、二十五クラブで発足されました。輝かしい五十五年の歴史あるクラブを脱退する事は、大変残念ですが、これも時の流れで、会員様方の高齢化及び、六十五歳からの再就職や、会員様の生活環境などによります。御見舞申しあげます。今年度も例年通りですが、ふれあい集会・スポーツ大会・旅行と、会員皆方に楽しんでいただけたらと思います。このたび、野一色老人クラブも、山東老人クラブ連合会を退会する事と



みんなそろって準備体操

昨年の四月に、老人クラブの世話役を引き受けて、一年間無事終えることが出来ました。これ偏に、皆様方の御協力の賜であります。厚く御礼申し上げます。昨年は、日本全国自然災害が多発し、米原市でも、竜巻が発生し、特に朝日地区で甚大な被害を被られました。当野一色区でも被害に遭われた方に、御見舞申しあげます。今年度も例年通りですが、ふれあい集会・スポーツ大会・旅行と、会員皆方に楽しんでいただけたらと思います。このたび、野一色老人クラブも、山東老人クラブ連合会を退会する事と

一年を省みて

野一色老人クラブ 野一色 秀和

化及び、六十五歳からの再就職や、会員様の生活環境などが上げられます。

私の「クラブ」の考え方は、会員が楽しく目的を共鳴して運営する事と思っています。

当クラブも、会員募集六十五歳から勧誘をしていますが、

最後に、老人クラブに参加させて頂き、御縁と数多くの事を学ばせて頂き、ありがとうございます。どうございました。

会員皆様方に大変ご迷惑をおかけしました事を深くお詫びします。



もうこれ以上、犠牲者を出さないで！

夜間

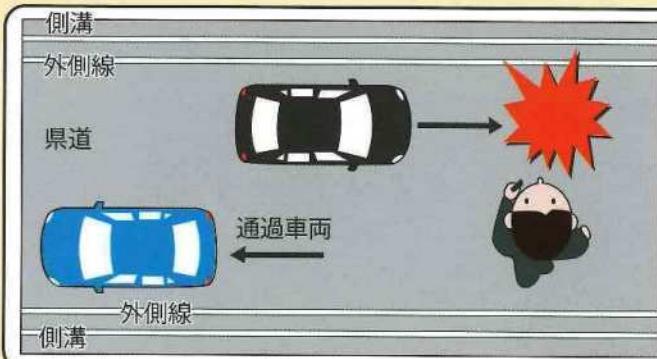
通り慣れた道

横断中

今年に入り、交通死亡事故が多発しています。

2月25日現在、交通死亡事故は13件13人（前年比+6）で、そのうち高齢者が10人を占めています。また夕方・夜間、自宅近くの道路を横断中の高齢者の死亡事故が目立ちます！

事例 高齢歩行者交通死亡事故



●日時 平成31年2月 午後6時台

●東近江市

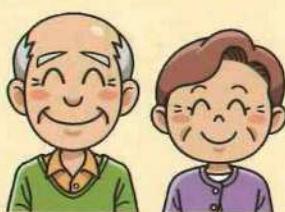
●普通乗用車 × 歩行者

(80歳代女性 死亡)

●事故状況

普通乗用車が横断中の歩行者と衝突

私たち約束します！



横断する前、左右確認！

右も左も両方確認！遠くに見えても車は早い！止まる・見る・待つ

明るい服装と反射材！

夕暮れ夜間、黒っぽい服装は車の運転者から見えていません…

ご近所こそ、油断大敵！

通り慣れた道で、高齢歩行者の死亡事故が多発しています。

